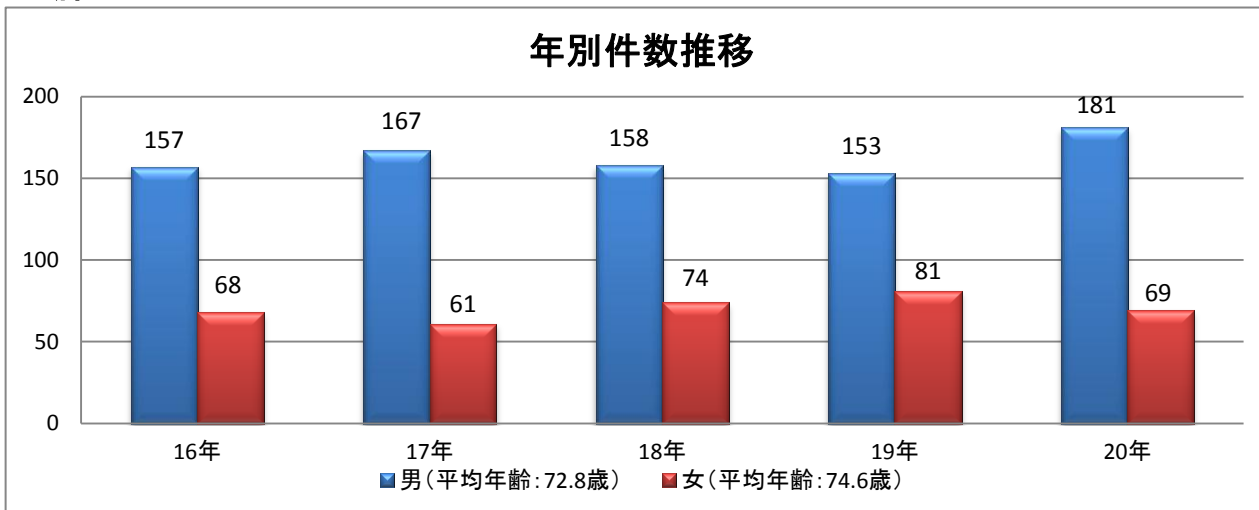
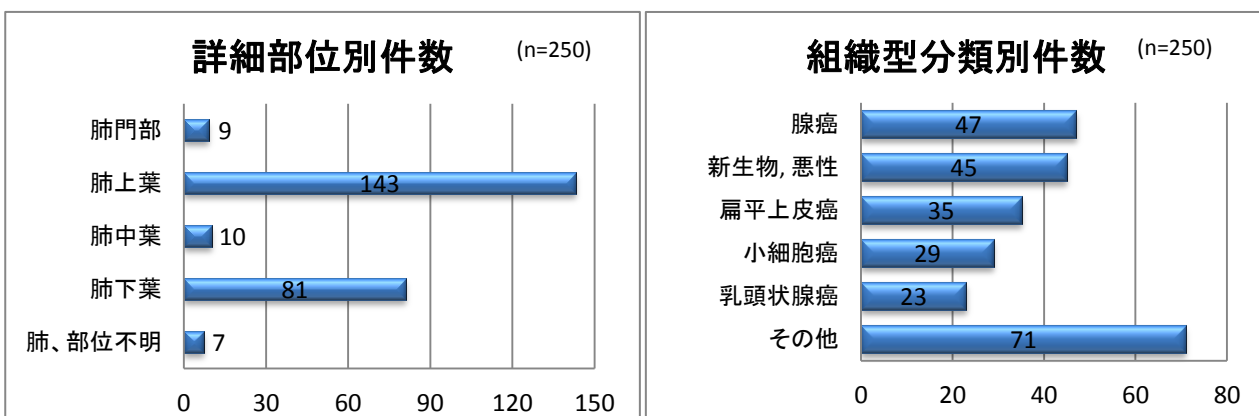


Ⅱ. 2020年集計＜部位別＞

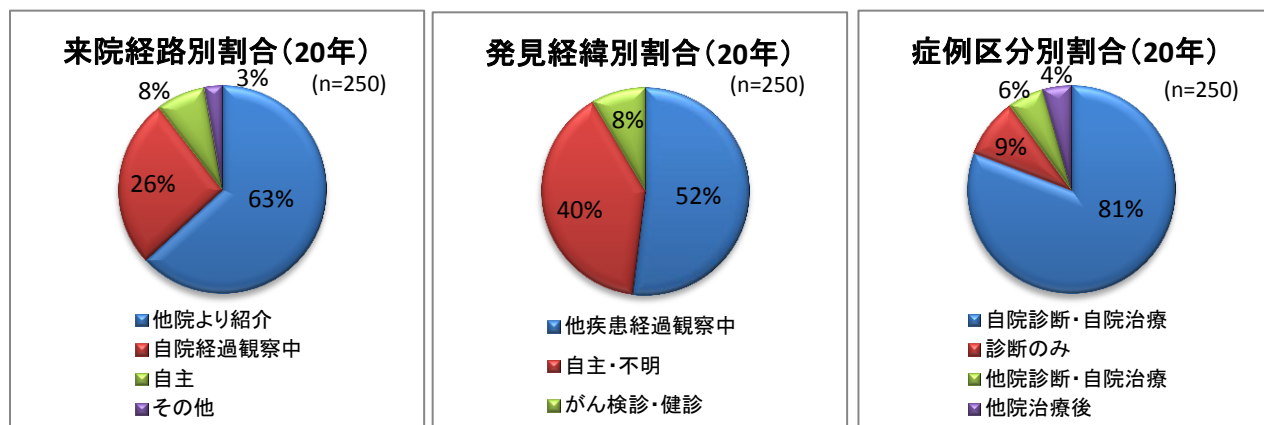
3. 肺



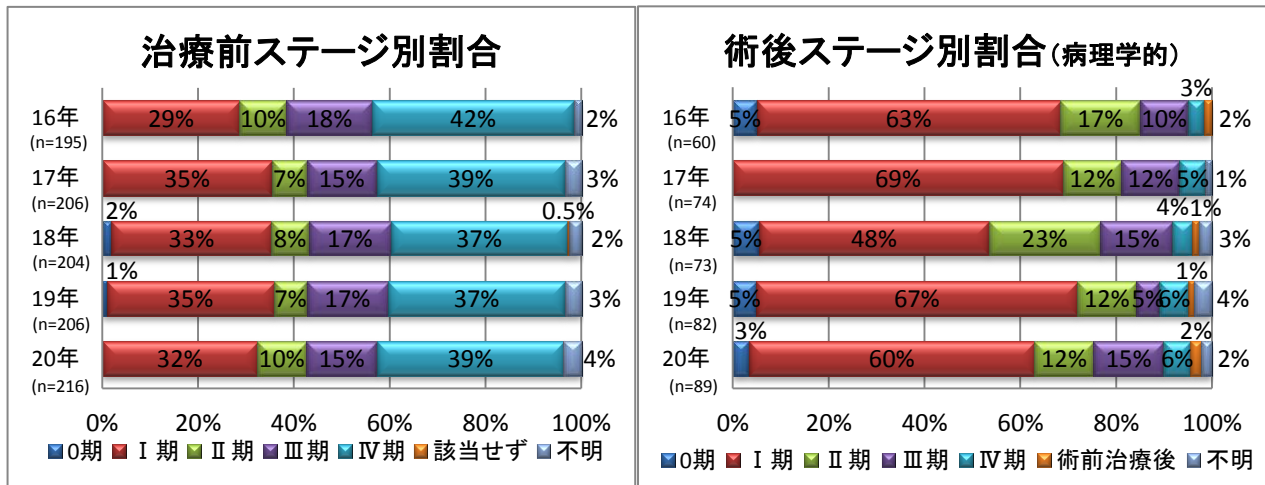
年別件数推移は男性の件数が増加している。



詳細部位別では「肺上葉」の件数が最も多く、次いで「肺下葉」の件数が多い。
組織型分類別は「腺癌」の件数が最も多く、次いで「新生物, 悪性」の件数が多い。

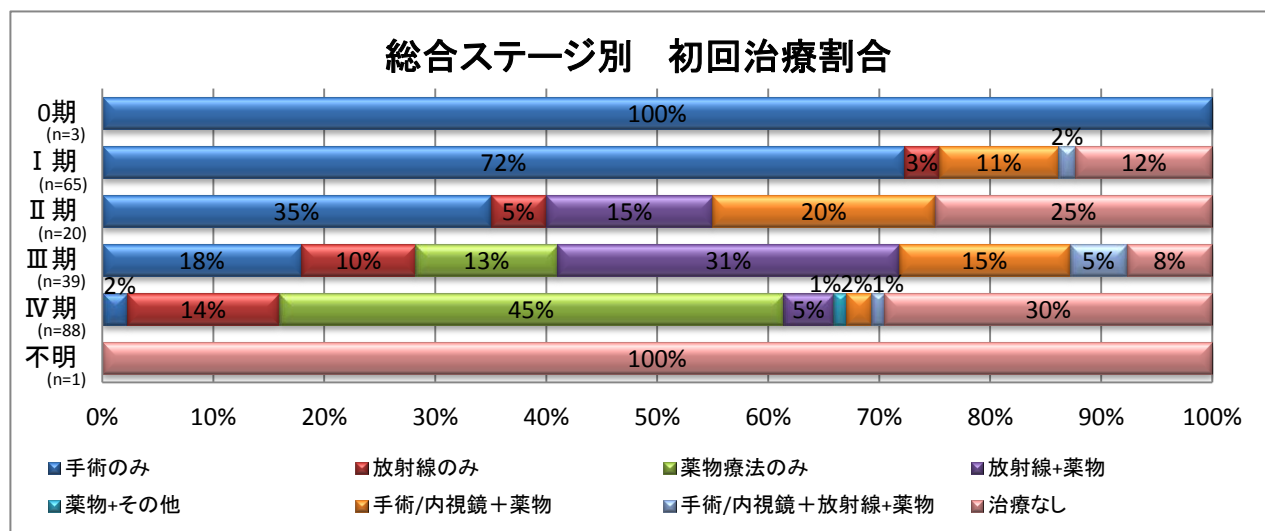


来院経路別割合は「他院より紹介」の割合が約6割を占めている。
発見経緯別割合は「他疾患経過観察中」の割合が約5割を占めている。
症例区分別割合は「自院診断・自院治療」の割合が高く約8割を占めている。



治療前ステージは「I 期」と「IV 期」の割合が多くを占めている。術後ステージは「I 期」の割合が6割を占めており、また「III 期」の割合が増加している。

※「術前治療後」には、術前に化学療法や内分泌療法で病変を小さくしてから手術する症例が含まれる。



I 期では「手術のみ」の治療が約7割を占めている。II 期は「手術のみ」、III 期は「放射線+薬物」、IV 期は「薬物療法のみ」の治療が多くなっている。

※「不明」には、検査するもステージ決定に必要な所見が得られなかった症例が該当する。